

学習の基本は授業をしっかりと受けることにあります。特に部活動を頑張っている人こそ授業を大切にしなければなりません。部活動を頑張っている人は「勉強時間の確保が難しい」からです。以下の「授業の受け方」を実行し、学習効果を高めていこう。

勉強と部活動を両立させる「授業の受け方」

1 本時のねらい、各自の目標の確認

50分間の授業には“ねらい”があります。それは、我々教員には50分間の授業で生徒に理解させたいことがあるからです。ですから、授業の最初にこの50分間で理解すべき事をあらかじめ確認して授業に臨み、授業の最後にそれが理解できたかを確認すればよいのです。

○この授業で何を学習するのかを確認し、予め教科書やノートを開いておく。

○この授業で何を理解したいのか、自分の目標を確認する。

2 授業中のモットー

(1) 授業は真剣勝負！

部活動が忙しくて勉強時間の確保が難しい人は、とにかく授業は集中して臨み、授業中に頭に入れることを意識しよう。

(2) 先生の指示にすばやく反応する。(授業で遅れないコツ、理解を深めるコツです)

授業で遅れないコツ、理解を深めるコツです。「教科書〇〇ページを開いて」といった指示にすばやく対応すること。

(3) メモを取る

板書を写しているだけでは理解は深まりません。受け身の姿勢ではなく、積極的に授業に臨むための工夫が必要です。大切だと思ったことはメモする習慣を身に付ける。我々教員は大切な所は何度も繰り返して説明します。“ここ大切”とか、“OKですね”といった先生の口癖にも注意しよう。

(4) 資料は加工する

同じ読むなら、何かを得ようとして資料を読みます。何となく読むのは時間の無駄です。資料は汚してよいものです。自分の読んだ跡をつけると頭に入ります。できたら三色ボールペン法（後日紹介します）を用いて記憶に残りやすくするとよいでしょう。

(5) 分かったら頷く、分からなかったら首をかしげる（反応せよ）

反応は、自己点検・自己評価です。分かることと分からないことを自ら確認します。教員にとっても生徒の反応は効果的な授業を行うために必要なことです。

3 授業理解の確認 想起法 30秒

授業で勉強したことを思い起こすだけです。授業が終わったあと30秒、目を閉じて何を学んだか、思い出してみよう。思い出したことは忘れません。

4 授業の自己評価 5秒

分かったか、分からなかったか。分からなかったところはどこか。たった5秒です。勉強というものは、分からないところを分かるようにするだけのことです。分からないところは先生に質問するのも忘れずに！

中間テストが近づいています。中学生のときの定期考査よりも難易度が高くなっているので、一夜漬けでは決して歯が立ちません。まずは自分の理解が不十分なところはどこなのかを把握し、どの科目のどの部分からテスト勉強を始めるか計画を立てて勉強を進めてください。